

事業名	豊島区保健所のオープン
ここがポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和8年5月7日に池袋保健所を南池袋2-1-1に移転 ・ 移転に伴い、名称を「豊島区保健所」に変更 ・ 健康に関する「気づき」を得て「相談」ができる「わたしメンテラボ」を設置し、区民の健康づくりを支援

事業の内容

1. 事業実施に至った経緯、背景など

- ・ 池袋保健所は、旧池袋保健所(東池袋 1-20-9)の老朽化により、大規模改修や移転を含めた検討を重ねた結果、令和元年10月に造幣局東京支局跡地(東池袋 4-42-16)へ仮移転し、その後、南池袋二丁目 C 地区再開発事業ビル(南池袋 2-1-1)へ本移転が決定。3月27日に引き渡しが行われ、開所に向けて最終準備を進めている。
- ・ 新たな基本構想・基本計画が始動し、若年女性の痩せや不健康な食生活などの健康課題に対して、「楽しめる健康づくり」や「効果的な情報発信」、「若年女性への対策」などの新たな取り組みを実施していく。

2. 目的

- ・ 保健所専門機能の強化、健康づくり支援の拡充等を図り、区民の命と健康を守る公衆衛生の拠点を目指す。

3. 内容

- ・ 令和8年5月7日に池袋保健所を移転し、保健所名称を「豊島区保健所」に変更する。

【フロア構成(延べ床面積 約 4,658 m²)】

1階(約602m ²)	歯科診療所、薬局、駐輪場(来庁者用50台)
2階(約2,613m ²)	総合窓口、わたしメンテラボ、講堂、診察室、歯科相談室、健康教育室、休日診療所 他
3階(約1,443m ²)	許認可手続窓口・執務室・相談室

- ・ 「わたしメンテラボ」概要—開設時間 平日9:15~16:30(受付終了 16:15)

【スペース構成】 健康測定コーナー、健康相談スペース、情報発信コーナー

【内容】 健康測定機器により健康セルフチェックができるほか、管理栄養士や保健師、助産師などの健康コンシェルジュが健康相談に応じる。情報発信コーナーにて様々な健康情報の取得が可能

【常設健康測定機器】 体組成計・血圧計・骨健康度測定器・野菜摂取度測定器・肌年齢測定器・握力計

5月~7月は「脳年齢・血管年齢 らくらくウエルネス」を特別設置するほか、月間テーマに合わせた事業を実施

- ・ 今秋にオンライン相談をスタートし、来所が難しい方も場所を選ばず、移動時間ゼロで健康相談が可能
- ・ わたしメンテラボでの測定・相談や日々の健康記録、歩行等でポイントを貯められる「としま健康チャレンジ！」をアプリ化し、若年層の健康意識の向上に向けたアプローチを強化(6月にリリース予定)
- ・ AIを活用した地域情報提供サービス「としまコミュニティ・コンパス」を名古屋大学と共同で実施

4. 今後のスケジュール

- ・ 令和8年4月29日 落成式(10時~11時)・内覧(11時~12時) ※関係者・メディア向け
- ・ 令和8年5月7日 開所